


[8] 肩の慢性期 2.灸や灸頭鍼を併用して

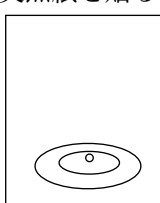
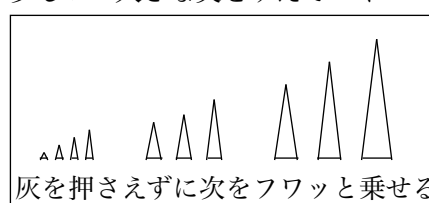
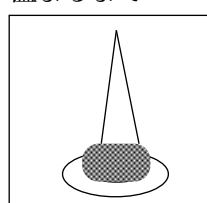
(1) 肩まわりの痛み：慢性期の型+灸・灸頭鍼

<p>①</p> <p>1. 慢性期の型 (+肩痛のツボ+動作鍼) 2. 慢性期診察+手の陰陽</p> <p>※.初めは1.、古いツボが特定したら2.</p>	<p>②</p> <p>灸・灸頭鍼</p> <p>手順：座位→うつ伏せ→仰向け→手指 (横向き) (糸状灸)</p>
---	--

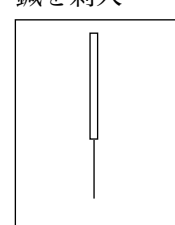
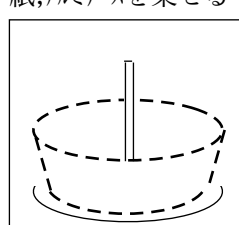
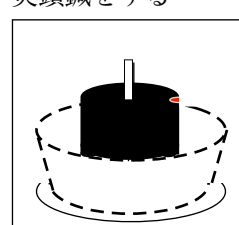
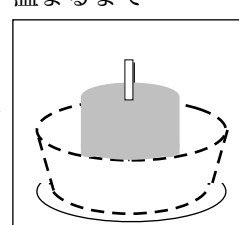
(2) 古く変わりにくいツボが出やすいところ

<p>① 腹の古いツボ</p>  <p>定番： 上下盲愈 章門 五枢~維道</p> <p>時々： 関元 衝門~急脈 横骨</p>	<p>② 肩の古いツボ</p>  <p>脇の下~上腕陰経 に見える溝の中</p> <p>天柱-風池 (+不眠時) 横頸部中央 胸椎1-5脇 (華佗経) 肩貞 上腕太陽経 (肘より)</p>
--	---

(3) 補の灸：小さな刺激で、遠くを、ゆっくり、温める

<p>灸点紙を貼る</p>  <p>敏感なら2枚重</p>	<p>少しづつ大きな灸をすえていく</p>  <p>灰を押さえずに次をフワッと乗せる</p> <p>初めは胡麻粒大→底φ5mm高さ3cm</p>	<p>温まるまで</p>  <p>ホワワン・クニャア</p>	<p>体全体の力が抜け 気持ちよくグター となるまで</p>
--	---	--	--

(4) 補の灸頭鍼：鍼を通して熱を深部に届かせるつもりで

<p>鍼を刺入</p>  <p>奥の硬いシコリ まで</p>	<p>紙,アルミケースを乗せる</p>  <p>葉書厚紙+アルミケース (皮膚に枇杷葉エキス)</p>	<p>灸頭鍼をする</p>  <p>灸頭鍼用炭艾 (灸頭鍼用艾(径2cm))</p>	<p>温まるまで</p>  <p>体全体の力が抜け ホワワン・クニャア</p>
---	--	---	---